

京都府人権教育・啓発推進計画(第2次)令和3年度実施方針の方向性について

| | | |
|------------------|--|--|
| 令和3年度実施方針の方向性(案) | ★令和2年度の実施方針(改訂版)(時事的内容を除く)を基本に、現在見直しを行っている「京都府人権啓発・教育推進計画(第2次)」を踏まえて、以下の点を反映 | |
| | 現状認識 | <ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス感染症の差別や誹謗中傷を受ける事例が表面化 ○さらに、新型コロナウイルス感染症のパンデミックを契機として、個別の人権問題(女性、子ども、外国人等)に対する差別などがより顕在化、高齢者、障害のある人などの外出自粛により顕在化する懸念 ○インターネット上の人権侵害や性的指向・性自認等、性的少数者に対する偏見・差別など、人権に関わる新たな課題が顕在化 ○人権三法に基づく施策(相談体制、教育・啓発等)の充実などが必要 ○自然災害が頻発する中で、災害弱者への情報保障を含む配慮や新型コロナウイルス対策を講じた避難所運営が必要 ○ユニバーサルデザイン社会の実現に向けた取組が必要 |
| | 取組の方向性 | <ul style="list-style-type: none"> ○京都府総合計画に掲げる「人とコミュニティを大切に共生の京都府」の実現 ○人権に特に関係する職業従事者に対する研修等を推進 ○人権三法の周知、相談体制の充実、教育・啓発等を引き続き推進 ○新型コロナウイルス感染症への差別や誹謗中傷を防止する正しい知識の普及・啓発 |
| 取組推進の視点 | <ul style="list-style-type: none"> ○個別の人権課題(部落差別、ヘイトスピーチ、障害者差別、性的指向・性自認など)に係る効果的な啓発の推進 ○<u>インターネット上の誹謗中傷への対策強化と被害者に対しての相談窓口の周知や府民へのネットリテラシーに関わる教育・啓発の推進</u> ○<u>新型コロナウイルス感染症に関連し、海外から帰国した人、外国人、感染者、濃厚接触者とその家族、新型コロナウイルス感染症の対策や治療あたるエッセンシャルワーカーやその家族等の人権侵害防止に向けた教育・啓発の推進と人権に特に関係する職業従事者に対する研修の充実</u> ○安心して働ける職場環境の推進のため府内企業の経営者や管理職等への研修やハラスメント被害者等への支援 ○性的指向・性自認など性の多様性に対する理解を深めるための啓発の推進と相談体制の充実 ○人権教育・啓発に触れる機会の少ない人に対する多様な教育・啓発の推進 ○隣保館の身近な人権施策の拠点としての機能の充実を支援 ○公益財団法人世界人権問題研究センターの調査・研究活動を支援し、研究成果を広く内外に発信・還元 ○<u>WITH コロナ社会におけるインターネットの活用や感染症対策を講じたより効果的な人権教育・啓発の推進</u> ○再犯防止に関する教育・啓発の推進と国、市町村、関係の支援団体等との連携による就労支援 ○ユニバーサルデザインによるまちづくりや<u>災害時の避難所の整備</u> ○<u>災害弱者(外国籍府民や障害のある方、高齢者等)への情報保障や WITH コロナ社会における避難所のあり方</u> ○外国籍府民等に対する地域や学校現場での日本語教育の推進 等 | |

| | | |
|----------------|---------|---|
| 令和2年度実施方針（改定版） | 現状認識 | <p>○国連では、「人権教育のための世界計画」の重点領域を「若者」として第4フェーズ行動計画（令和2年～令和6年）が開始</p> <p>○国連人権高等弁務官事務所は、新型コロナウイルス感染症に関する国際的な指針「COVID-19 ガイダンス」を提言</p> <p>○国内では、従来の個人権課題に加え、インターネット上での人権侵害等が顕在化、少子高齢化や情報化、国際化が進み家族の形態が多様化する中で、様々な格差問題、他人を排斥する不寛容な言説が目立つ時代</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の全国的な拡大による誹謗中傷や行き過ぎた非難が、SNS等で見られる状況</p> |
| | 取組の方向性 | <p>○京都府総合計画に掲げる「人とコミュニティを大切に作る共生の京都府」の実現</p> <p>○人権に特に関係する職業従事者に対する研修等を推進</p> <p>○人権三法の周知、相談体制の充実、教育・啓発等を引き続き推進</p> <p>○新型コロナウイルス感染症に対する誤解や偏見から生じる人権侵害を防止する正しい知識の普及・啓発</p> |
| | 取組推進の視点 | <p>○一人ひとりが自分の問題として認識し、異なる文化や価値観を認め合う意識を醸成していける教育・啓発の創意工夫</p> <p>○人権問題の要因の複合化、インターネットの状況も踏まえ、深刻な権利侵害、生きづらさを抱えた人々に係る様々な人権問題に対応</p> <p>○京都府総合計画に人権尊重の重要性を引き続き明確化</p> <p>○今後のWITHコロナ社会を見据え、学校や地域社会、職場など、さまざまな場を通じた教育・啓発を実施</p> |

平成31年度（令和元年度）人権教育・啓発事業実施状況に関する主な委員意見

（第48回、令和2年度第2回）

- ・令和2年度には、新型コロナウイルス感染症や「ビジネスと人権」に関する我が国の指導原則の国別行動計画（NAP）の視点が必要。
- ・新型コロナウイルス感染症下で外国籍府民への「地域における日本語教育の推進」に困難をきたしているのではないかと感じている。取り組みの新たな工夫などが知りたい。
- ・日本語教育の推進に関する基本方針に基づき、外国人の子どもの不就学問題や日本語ができないだけで特別支援学級に入れられていることがある等の問題の取り組みや支援状況を教えてほしい。
- ・再犯防止の取り組みは、啓発にとどまらず、今後は就職環境の整備など踏み込んでほしい。
- ・外国籍府民への広報、災害情報提供などの言語に、必ずベトナム語とフィリピン語を加えてほしい。
- ・災害情報の伝達にもっとSNSを活用してほしい。（有益な情報が少ない。）
- ・多忙な現場で働く職員向け研修は、人手不足で「職員を派遣することができない」等の意見もあるならば、講義や研修のあり方を見直し、もっとインターネットを活用できないか検討してほしい。等

京都府人権教育・啓発推進計画（第2次）改定（案）の項目

◆個別の人権問題

- 同和問題 ○女性 ○子ども ○高齢者 ○障害のある人 ○外国人
- ハンセン病・エイズ（AIDS、後天性免疫不全症候群）・HIV感染症・難病患者等
- 犯罪被害者等

<さまざまな人権問題>

- ホームレス ○性的指向・性自認 ○刑を終えて出所した人
- アイヌの人々、婚外子、識字問題

<社会情勢の変化等により顕在化している人権にかかわる課題>

○新型コロナウイルス感染症による人権問題

- インターネット社会における人権の尊重
- 個人情報の保護 ○安心して働ける職場環境の推進
- 自殺対策の推進 ○災害時の配慮

◆人権教育・啓発の場・手法等

【あらゆる場を通じた人権教育・啓発の推進】

- ①保育所・幼稚園・認定こども園 ②学校
- ③地域社会 ④家庭 ⑤企業・職場

【人権に特に関係する職業従事者に対する研修等の推進】

- ①教職員・社会教育関係職員 ②医療関係者
- ③保健福祉関係者 ④消防職員 ⑤警察職員
- ⑥公務員 ⑦メディア関係者等

【人権教育・啓発の推進方策】

- ①指導者の養成 ②人権教育・啓発資料等の整備
- ③効果的な手法による人権教育・啓発の実施
- ④調査・研究成果の活用 ⑤相談機関相互の連携・充実
- ⑥国、市町村、民間団体等との連携・協働

令和元年度末～令和2年度の主な出来事等

国の動き
(法律等)

- 外務省が、「ビジネスと人権」に関する行動計画策定（2020-2025）
- ハンセン病問題の解決の促進に関する法律の一部を改正（患者家族を加える）
元患者家族に対する補償金の支給等を支給
- 母子保健法の一部を改正
 - ・出産後1年未満の女子や乳児への産後ケアの支援体制を確保
- 新型インフルエンザ等対策特別措置法の一部を改正
 - ・新型コロナウイルス感染症を適用
- 労働基準法の一部を改正
 - ・民法改正による賃金請求権の消滅時効期間等を延長
- 雇用保険等の一部を改正
 - ・70歳までの高齢者の就業機会の確保及び就業の促進、企業の努力義務
 - ・複数事業主に雇用される労働者への労災認定方法の見直し
- 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の一部を改正
 - ・「心のバリアフリー」教育の推進を図るため、
新学習指導要領に小学校は、2020年度～、中学校は、2021年度～反映
- 個人情報の保護に関する法律等の一部を改正
 - ・リクナビ事件による学生「内定辞退率」を予測し、無断で販売した事件により、
個人の権利の拡大と不正行為をした法人への厳罰化
- 地域共生社会の実現のための社会福祉等の法律の一部を改正
- 聴覚障害者等による電話の利用の円滑化に関する法律
- 新型コロナウイルス感染症等の影響に対応するための雇用保険法の臨時特例等の法律
 - ・休業手当を受けることができない労働者に対する救済措置
- 法務省が部落差別の解消に関する法律第6条に基づく調査結果を公表
- 総務省が
 - ・インターネット上の誹謗中傷への対応への在り方に関する緊急提言
 - ・発信者情報開示の在り方に関する研究会中間取りまとめ
 - ・インターネット上の誹謗中傷への対応に関する政策パッケージを発表

府の取組

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて
 - ・国に対し「WITH コロナ社会における新型コロナウイルス感染症への対策に関する緊急要望」（5月）
 - ・京都ジョブパーク「京都府WEB研修センター」開設（6月）
 - ・「京都府人権教育・啓発推進計画（第2次）」の見直し
 - ・「京都府こころのライン相談（コロナ関連）」（7月31日～年度末）
 - ・京都府・京都市連名で、新型コロナウイルス感染症に関する差別的書き込みに関して
京都地方法務局に対し削除要請（10月）
- その他本年度見直し予定の計画関係
 - ・KYOのあけぼのプラン（第3次）京都府男女共同参画条例
 - ・第9次京都府高齢者健康福祉計画
 - ・第2次京都府自殺対策推進計画
 - ・京都府依存症対策推進計画（仮称）
 - ・第6期京都府障害者福祉計画及び第2期京都府障害児福祉計画
 - ・京都府教育振興プラン

| | |
|----------|--|
| 府内市町村の取組 | <ul style="list-style-type: none"> ○ヘイトスピーチ <ul style="list-style-type: none"> ・府内全市町村で公的施設のヘイトスピーチガイドライン策定（8月） ○性的指向と性自認 <ul style="list-style-type: none"> ・京都市「パートナーシップ制度」開始（9月）、亀岡市（年度内予定） ・長岡京市議会 政府や国会に対し、同性婚法制化「議論」求める意見書採択（9月） |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○女性 <ul style="list-style-type: none"> ・東京地裁 東京医科歯科大学女子入試差別「違法」判決（3月） ・名古屋高裁 娘に性的暴行した父親に有罪判決、一審の無罪判決破棄（3月） ・女性国会議員、女性の性暴力被害の相談事業に関連して「女性は嘘をつける」発言（9月） ○子ども <ul style="list-style-type: none"> ・香川県 「ネット・ゲーム依存症対策条例」条例が可決（3月） ゲーム条例を違憲として県内高校生が提訴（9月） ・東京都 3歳児放置し衰弱死させた母親を逮捕（7月） ○障害のある人 <ul style="list-style-type: none"> ・横浜地裁 相模原事件死刑確定（3月） ・大阪 自治会で知的障害の内容を書かされ自殺した男性の遺族が自治会長らを提訴（7月） ○外国人 <ul style="list-style-type: none"> ・広島 NHKが「1945 ひろしまタイムライン」企画の「朝鮮人」記述を謝罪注釈付けず、当時の表現で投稿（8月） ○ヘイトスピーチ <ul style="list-style-type: none"> ・大阪地裁 大阪市ヘイト抑止条例の抑止策を定めた団体名公表など容認（1月） ・福岡法務局 在特会元会長が北九州で行った街頭演説をヘイトスピーチに認定（「人権侵犯」の有無は「不明確」）（8月） ・大阪高裁 学校法人京都朝鮮学校への名誉毀損罪の控訴審判決 在特会元幹部、二審も罰金（9月） ・川崎市 ヘイトスピーチ罰則条例に基づき、インターネット（ツイッター）上の投稿を「不当な差別的言動」に該当するとの答申（10月） ○難病患者 <ul style="list-style-type: none"> ・京都市 ALS（筋萎縮性側索硬化症）囑託殺人、ALS患者に薬物を投与したとして医師2人を逮捕（7月） ○性的指向と性自認 <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋地裁 同性パートナーへの遺族給付金の支払拒否は妥当と判断（5月） ・三重県 「性の多様性を尊重し誰もが安心して暮らせる三重県づくり条例（仮称）の中間案提示 ・東京都足立区議員「同性愛が広がると区が減ぶ」発言（10月） ○職場環境 <ul style="list-style-type: none"> ・内定学生にSNSで辞退迫り、自殺に追い込んだとして、遺族が会社側に謝罪と慰謝料を求める。（4月） ○インターネット <ul style="list-style-type: none"> ・テレビ番組出演の女性タレント SNSの誹謗中傷により自殺（5月） ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・IOC 東京オリンピック開催1年延期を承認、中止はせず（3月） ・京都アニメーション火災 事件発生から10ヶ月容疑者逮捕（5月） ・日本各地で大雨続く（熊本豪雨、岐阜・長野地域等）（7月） |